

## 三重県森林審議会森林保全部会の審議状況報告について

1 審議会等の名称	三重県森林審議会 令和3年度 第1回森林保全部会
2 開催年月日	令和3年9月16日(木) 現地視察、以降書面審議
3 委員	【部会長】三重大学 教授 中井毅尚 他5名
4 諮問事項	桑名市多度町古野地内における採石用地の拡大に係る保安林解除及び林地開発変更許可申請について
5 審議結果	<p>採石用地の拡大に係る桑名市多度町古野地内の森林における保安林解除申請及び林地開発変更許可申請について、保安林解除については「保安林の転用に係る解除の取扱い要領」に基づく、用地事情、面積、事業の実現性や利害関係者の意見などの審査内容について、さらには林地開発許可に定められた4つの要件、「災害の防止」「水害の防止」「水の確保」「環境の保全」の基準に基づく審査内容について、あわせて審議した結果、次のとおり答申がとりまとめられました。</p> <p>(令和3年10月20日付け答申)</p> <p>多度開発株式会社による桑名市多度町古野地内における保安林解除及び林地開発変更許可申請については、次の事項に留意し適切に対応する必要があります。</p> <p>(1) 当該開発行為地の南には、活断層「北勢一多度撓曲<sup>とうきよく</sup>」が東西方向に延びており、また事業地内には赤茶色の風化岩盤の露出も確認できた。断層等により形成された大規模弱面は岩盤崩壊の原因となることから、掘削時にはこれらの位置を把握し、崩壊防止に努めること。</p> <p>(2) 造成森林については、単一樹種を植栽する計画であるが、病虫害防止のため、専門家の意見を参考に、現地植生に応じた複数樹種の選定や適切な苗木品種の選定を行うほか、ニホンジカ等による食害が懸念される場合は、獣害防護柵等の対策を講じること。</p> <p>(3) 掘削残壁<sup>くっさくざんへき</sup>における緑化については、確実な法面緑化が図られるよう最適な工法と種子品種の選定を検討すること。</p> <p>(4) 残置森林の林縁部は風倒が懸念されることから、残置森林の整備や保護措置等により風倒被害を抑止し、森林の適正な管理を図ること。</p>
6 保安林解除	保安林の指定の解除申請書について、農林水産大臣あて進達済み
7 林地開発許可	農林水産大臣からの保安林解除予定告示後の令和4年1月頃に許可処分予定
8 備考	

## 多度開発株式会社 事業計画概要書

令和3年9月16日  
森林審議会森林保全部会資料

### (1) 事業主体

住 所 桑名市多度町古野字木ノ元 33 番地の 2  
事業社名 多度開発株式会社 代表取締役 伊藤 俊男

### (2) 事業内容

#### ● 岩石採取事業

アスファルトの材料として良質の砂岩が採取できることから、昭和 34 年から多度町にて採石事業を開始し、これまで、名古屋を中心とする道路工事の需要に応え、高速道路や国道等の整備に貢献してきました。操業から 60 年余りが経過しましたが、この間、3 度の保安林解除申請を行い、徐々に採掘エリアを拡大しています。

今回の申請は、長期的な開発工事（東海環状道路、リニア中央新幹線など）に安定して供給することを想定し、今後 10 年間に必要となる岩石量（5,030 千 t）を確実に採取でき、面積が最小となるよう採掘範囲を算定してあります。

これにより、34.59ha であった採掘範囲は 7.70ha 増加し、42.29ha となり、内訳は採掘場 24.25ha（調整池含む）、プラント 7.39ha、残置森林 10.65ha となります。

また、土地の種類別では、保安林が 21.28ha、地域森林計画対象林が 11.54ha（うち林地開発行為に係る森林面積 10.97 ha）、その他の山林 9.47ha となり、新たに保安林を解除する面積は 4.15ha となっています。

採掘場では高さ 10m ごとに 2m の小段を設置するほか、切土傾斜は 60 度以下とし、調整池兼沈砂池は 36,061 m<sup>3</sup> から 69,691 m<sup>3</sup> へと 1.9 倍に拡大させ防災上の安全を確保し、造成緑地については、採取が完了した平場に客土を行い、マツを ha 当たり 3,000 本植える計画です。

保安林が含まれることから、岐阜県も含めた半径 10 km 以内の砂岩のある候補地を 6 か所選定し比較検討したほか、現プラントの周辺 4 か所についても比較検討した結果、今回提出した採石エリアの拡大以外では事業継続性が担保されず、今後の安定的な石材供給ができなくなることから、やむを得ず保安林の解除申請を行うこととしたものとなっています。

事業説明書

申請者住所・氏名	三重県桑名市多度町古野字木ノ元33番地の2 多度開発株式会社 代表取締役 伊藤俊男							
森林の所在場所	桑名市多度町古野字高野谷3479番ほか42筆 (保安林は桑名市多度町美鹿字日根草1377-3ほか5筆)							
事業の目的	採石事業(10年間で5,030千トン)							
事業規模	事業面積 42.2937ha うち保安林面積 21.2833ha 50.3% うち林地開発しようとする事業区域面積 21.0104ha 49.7%							
森林率	残置森林面積 10.6532ha(うち保安林面積 8.9235ha) 造成森林面積 8.2845ha(うち保安林面積 2.2149ha) 森林率 (10.6532+8.2845)/42.2937=44.8%							
転用後の 用途別面積	施設名	①保安林				②山林	③その他 (森林計画 対象外区 域)	計 (ha)
		今回解除 対象面積 (ha)	予定告示 対象面積 (ha)	残置保安林 対象面積 (ha)	小計			
	造成森林	0.2066	2.0083	—	2.2149	6.0042	0.0654	8.2845
	造成緑地	3.3641	4.6034	—	7.9675	4.1055	1.9322	14.0052
	排水路等	0.0040	0.9399	—	0.9439	0.1414	0.8731	1.9584
	管理道等	0.5753	0.6582	—	1.2335	0.7215	5.4374	7.3924
	残置森林	—	—	8.9235	8.9235	0.5715	1.1582	10.6532
計	4.1500	8.2098	8.9235	21.2833	11.5441	9.4663	42.2937	

## 林地開発変更許可申請の概要

### 1 林地開発変更行為に係る森林の所在場所

桑名市多度町古野字高野谷 3 4 7 9 番 他 2 3 筆

### 2 林地開発行為の目的

土石等の採掘

### 3 申請面積（林地開発行為に係る森林の土地の面積）

10.9726 ヘクタール

参考 林地開発行為をしようとする事業区域面積

21.0104 ヘクタール

### 4 申請者の住所氏名

桑名市多度町古野字木ノ元 3 3 番地の 2

多度開発株式会社

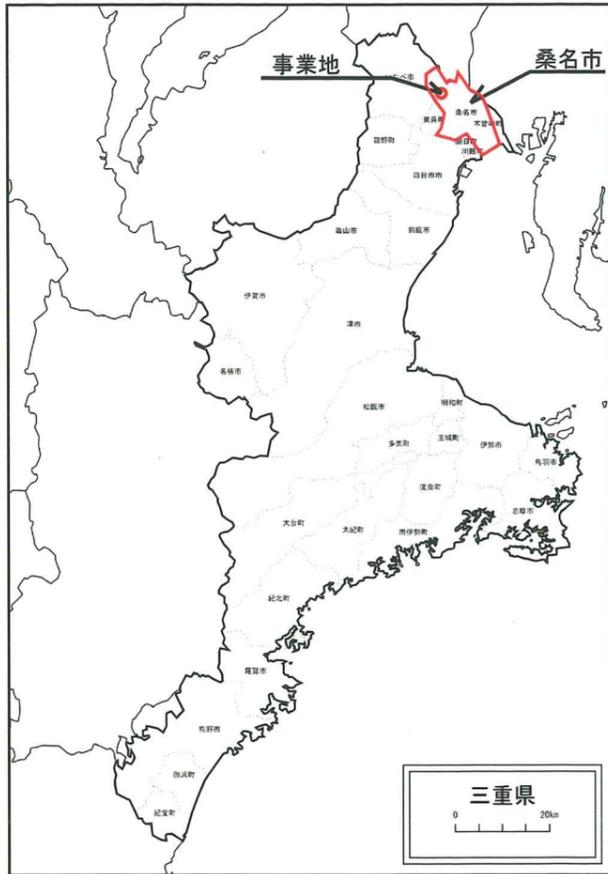
代表取締役 伊藤 俊男

(様式3)

## 計 画 説 明 書

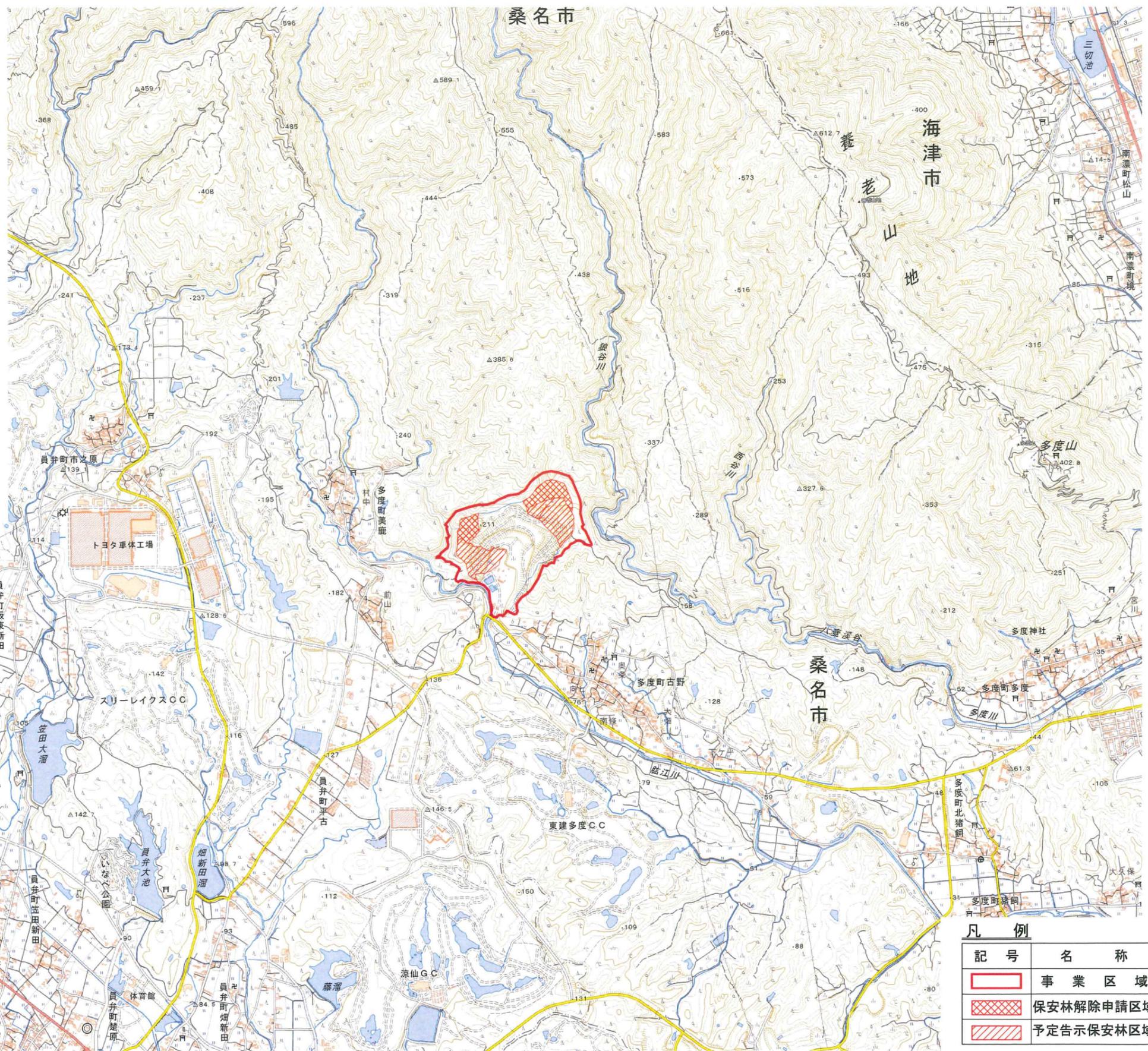
設計者住所氏名		名古屋市名東区豊ヶ丘1901番地 株式会社サニー設計事務所 代表取締役 森本 俊一		申請者住所氏名		桑名市多度町古野字木ノ元33番地の2 多度開発株式会社 代表取締役 伊藤 俊男			
開発対象区域の場所		桑名市多度町古野字高野谷3479番 他 23筆							
計画の 方針	目的 及び施設の名称	岩石(砂岩)採掘事業 多度開発株式会社							
	基本方針	森林法の「林地開発許可技術基準」、採石法の「採石技術指導基準」に 準拠し、計画しました。							
開発 区域 の 現 況	区 分	地域森林計画対象			地域森林計画対象外				
		森林	保安林	山林	原野	雑種地	田・畑	その他	合計
	面積 (ha)	11.5441	21.2833	8.6696				0.7967	42.2937
	構成比 (%)	27.3	50.3	20.5				1.9	100.0
地況・林況	地況： ・位置 木曾川流域揖斐川左岸 ・地質 硬質砂岩 ・傾斜 10度以上25度未満 ・標高 100~300 林況： ・雑木森林								
土地 利 用 計 画	用途区分	※( )森林・(( ))保安林							
		森 林				計 (A)+(B) = (C)	そ の 他 (農地、宅 地等) (D)	合 計 (C)+(D)	
	開発行為 の面積 (A)	残置する森林		面積 (B)	比 率 (%)				
	採掘場 (防災施設含む)	( 10.2511 ) (( 11.1263 )) 21.3774			( 10.2511 ) (( 11.1263 )) 21.3774		2.8707	( 13.1218 ) 24.2481	
	管理道路(製品 置場等含む)	( 0.7215 ) (( 1.2335 )) 1.9550			( 0.7215 ) (( 1.2335 )) 1.9550		5.4374	( 6.1589 ) 7.3924	
	残置森林 (保安林含む)	0.0000	( 0.5715 ) (( 8.9235 )) 9.4950	( 1.7 ) (( 27.2 )) 28.9	( 0.5715 ) (( 8.9235 )) 9.4950		1.1582	( 1.7297 ) 10.6532	
合 計	( 10.9726 ) (( 12.3598 )) 23.3324	( 0.5715 ) (( 8.9235 )) 9.4950	( 1.7 ) (( 27.2 )) 28.9	( 11.5441 ) (( 21.2833 )) 32.8274		9.4663	( 21.0104 ) 42.2937		
開発 事業 計 画	主要施設・工種	概 要							
	採 掘 場	最終残壁規格：高さ10m毎に2mの小段とする。 切土傾斜角60°以下とする。							
	道 路	道路の幅員は、4m以上の地道とする。なお、重機道は5m以上とする。							
	調節池兼沈砂池	沈砂池容量 $V_s = 29,383 \text{ m}^3$ 調節池容量 $V_w = 40,308 \text{ m}^3$							
その他参考事項		(土地選定理由等) ・該当地は既に岩石(砂岩)事業を行っている。 よって、砂岩鉱床の分布地域であり、道路用碎石(As舗装骨材)、碎石、砕砂、 道路用路盤材に適している。 ・開発行為に影響する民家は無い。 ・地元桑名市ほかの需要者へ安定供給できます。							

# 三重県全図



# 事業計画位置図

S=1:25 000



凡例

記号	名称	備考
	事業区域	
	保安林解除申請区域	4期
	予定告示保安林区域	1~3期

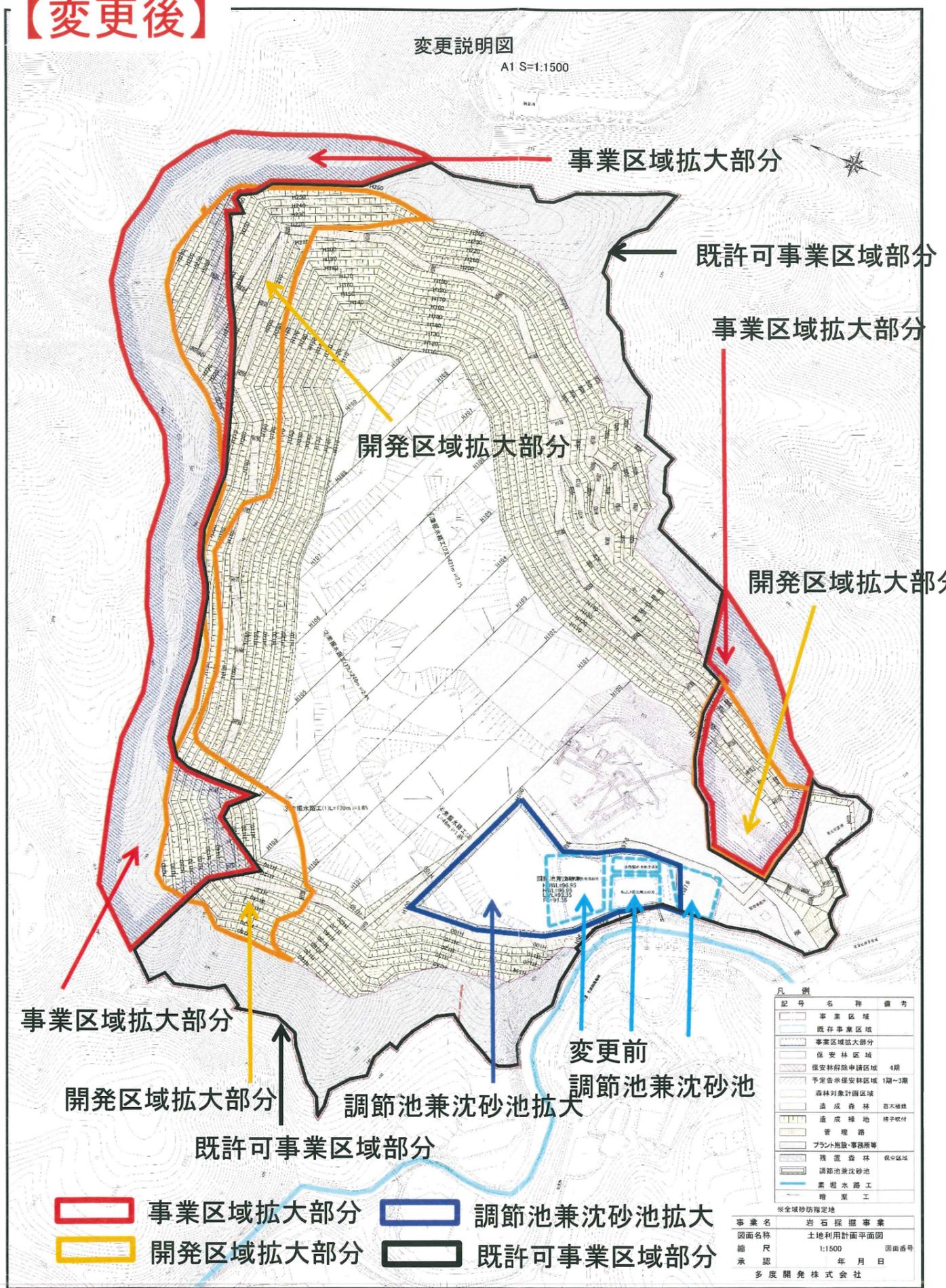
# 事業計画地の現況写真



凡例

記号	名称	備考
[Blue outline]	事業区域	
[Blue hatched]	事業区域拡大部分	
[Red outline]	保安林区域	
[Red hatched]	保安林解除申請区域 4期	
[Red diagonal hatched]	予定告示保安林区域 1期~3期	

# 【変更後】



凡例

記号	名称	備考
[Blue outline]	事業区域	
[Blue hatched]	既存事業区域	
[Blue outline]	事業区域拡大部分	
[Red outline]	保安林区域	
[Red hatched]	保安林解除申請区域 4期	
[Red diagonal hatched]	予定告示保安林区域 1期~3期	
[Green hatched]	森林対象計画区域	
[Green outline]	造成森林 苗木植栽	
[Green outline]	造成林地 植子敷付	
[Blue outline]	管理路	
[Blue outline]	プラント施設・事務所等	
[Green outline]	残置森林 伐○区画	
[Blue outline]	調節池兼沈砂池	
[Blue outline]	掘削水路工	
[Blue outline]	埋戻工	

※全域砂防指定地

[Red outline]	事業区域拡大部分	[Blue outline]	調節池兼沈砂池拡大
[Yellow outline]	開発区域拡大部分	[Black outline]	既許可事業区域部分

事業名 岩石採掘事業  
 図面名称 土地利用計画平面図  
 縮尺 1:1500 図面番号  
 承認 年月日  
 多度開発株式会社